

尼崎構内池田街道架道橋新設工事が完成

このたび、当社が施工を進めてまいりました尼崎構内池田街道架道橋新設工事が完成いたしました。

尼崎市道長洲久々知線とJR線が交差する旧池田街道踏切は1日に約16時間、ピーク時には1時間のうち58分間も閉まる「開かずの踏切」として交通渋滞や市街地分断の要因となっていたため、立体交差化が計画され、当社はJR東海道線、福知山線、貨物線、引込線の計8線の下を通るアンダーパス工事を行いました。

本工事では通常の列車運行を確保しながら工事を進めるため、フロンテジャッキング工法により、予め築造したボックスカルバート4基をけん引して線路下に設置し、両端に取付ボックスとU型擁壁を築造しました。

施工中は鉄道輸送の安全を守るために、線路の状態を日々確認し、細心の注意を払いながらボックスけん引作業を24時間体制で進め、7年間という長期に渡る工事を無事に完遂し、平成28年7月31日に道路を開通させることができました。

当社はJR西日本グループの一員として、安全で快適な交通ネットワークの発展ならびに社会基盤の創造に貢献してまいります。

工事概要

発注者	西日本旅客鉄道株式会社
主要工種	ボックスカルバート（フロンテジャッキング工法）L=46.5m 取付ボックス L=11.5m U型擁壁 L=32.7m
工事期間	平成21年9月～平成28年6月
施工	大鉄工業株式会社 土木支店



全体写真（北側より）



線路写真（施工前）



ボックス写真（南側より）